

2013年6月10日

各 位

株式会社春帆楼

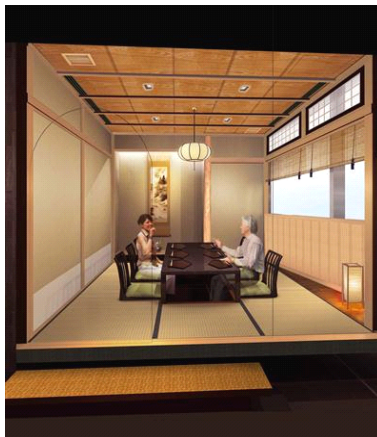
## 2013年6月13日、ふく料理「春帆楼 近鉄阿倍野店」が あべのハルカスダイニングに移転し新たにオープン

株式会社春帆楼(しゅんぱんろう)(本店:山口県下関市、社長:久保 賢二)は、「春帆楼 近鉄阿倍野店」を2013年6月13日(木)にあべのハルカス近鉄本店タワー館「あべのハルカスダイニング」14階に移転し新装オープンします。

店内は総席数50席を有し、客席は和、洋2種類の個室や、ベンチシート席、ボックス席をご用意して多様なニーズにお応えします。日清講和記念館をイメージした洋個室「講和の間」はテーブル席でグループ宴会でのご利用に最適です。また和個室「桂月」は、春帆楼本店がある山口県の日本画家「松林桂月」の掛け軸を掲げており、掘りごたつ席の落ち着いた空間で顔合わせや接待に適しています。両個室からは、通天閣など大阪の眺望をお楽しみいただけます。また、ベンチシート席は半個室にもアレンジでき、20名さままでのご宴会にもご利用いただけます。



洋個室「講和」定員 12名  
個室料金:8,400円(税込み)



和個室「桂月」定員 6名  
個室料金:5,250円(税込み)



ベンチシート席、ボックス席  
計 32席

このたび移転オープンを記念して「黒毛和牛ステーキ会席」や季節の彩り御膳「茜(あかね)」などの限定メニューや、移転前の料金を据え置いたまま料理の内容をより充実させた御膳をご用意しました。旬の食材を駆使した本格和食を、お買い物帰りやご家族とお気軽にご賞味ください。

以上

<お問い合わせ先>

「春帆楼 近鉄阿倍野店」 店長 真鍋 貴裕

TEL:06-6625-2378

春帆楼ホームページ <http://www.shunpanro.com/>

# Press Release

春帆楼  
SHUNPANRO

## 「春帆楼 近鉄阿倍野店」概要

【住 所】 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43

あべのハルカス近鉄本店タワー館 14 階 あべのハルカスダイニング

【アクセス】 近鉄「大阪阿倍野橋駅」直結、地下鉄「天王寺駅」直結、JR「天王寺駅」徒歩 0 分

【営業時間】 11:00～23:00 (ラストオーダー 21:00)

【電話番号】 06-6625-2378

【FAX 番号】 06-6623-1692

【席 数】 50席 個室2室(定員12名、6名)、ベンチシート席、ボックス席32席

## お食事



### 昼食限定 萩御膳

2,100 円

ふく刺し  
天婦羅盛り合わせ  
和そば  
茶碗蒸し  
御飯  
吸物  
香の物  
水菓子



### 夕食限定 ふく御膳

4,200 円

梅酒  
珍味三点盛  
ふく刺し  
ふく唐揚げ  
ふく荒焚  
茶碗蒸し  
ふく寿司  
吸物  
水菓子



### 季節の彩り御膳 茜

3,150 円

【口取り】季節物  
【小 鉢】ずいき  
【造 り】鱧ちり・鮪・  
鯛ボン酢ジュレ  
【炊 合】ひろうす他  
【揚 物】白身魚磯辺揚・  
蓮根挟み揚  
【焼 物】鴨の桑焼  
【蒸 物】茶碗蒸し  
【食 事】御飯・吸物・香の物  
【水菓子】フルーツ



### 黒毛和牛ステーキ会席

5,250 円

【前 菜】季節の五種盛り合わせ  
【小 鉢】湯葉豆腐  
【揚 物】天婦羅盛り合わせ  
【焼 物】黒毛和牛陶板焼き  
【酢 物】海鮮サラダ  
【食 事】牛肉にぎり寿司  
【止 椀】赤出汁  
【水菓子】黒胡麻フ布林

※上記料金は消費税込み<個室料別>

# Press Release



## 春帆楼の概要

「春帆楼」は、1888年、伊藤博文公が「ふく料理※」を「春帆楼 下関本店」で食したことをきっかけに、日本のふく料理公許第1号の榮譽を担いました。1895年には日清戦争の講和談判会場となり、その名は全国に知られるようになりました。以降、山口下関の迎賓館として今日に至っています。

(※「ふく」……下関では、河豚(ふぐ)を“福”に通じるということで「ふく」と呼びます。)

【サービス】 ふく料理・日本料理などのレストラン展開

宿泊・宴会・ブライダル・ふく料理セットの宅配・PB商品の展開(本店のみ)

【経営】 株式会社春帆楼 (オリックス不動産株式会社 100%出資)

## 【店舗一覧】

### 「春帆楼」下関本店

住 所	山口県下関市阿弥陀寺町4-2
連絡先	TEL 083-223-7181 / FAX 083-232-7980
座席 / 席数	宴会場(3室)、客室数(11室)

### 「春帆楼」東京店

住 所	東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル内
連絡先	TEL 03-5211-2941 / FAX 03-5211-2943
座席 / 席数	個室(5室)、テーブル席(18席)

## <百貨店でのレストラン展開>

### 「春帆楼」松坂屋名古屋店

住 所	愛知県名古屋市中区栄 3-30-8 松坂屋名古屋支店南館 10 階
連絡先	TEL 052-264-3828 / FAX 052-262-6330
座席 / 席数	大小座敷(3室)、テーブル席(60席)

### 「春帆楼」難波店

住 所	大阪府大阪市中央区難波 5 丁目 1 番 18 号 高島屋大阪店内 なんばダイニングメゾン 9 階
連絡先	TEL&FAX 06-6633-3629
座席 / 席数	40 席(半個室・ソファ席など 34 席、個室 1 室 6 席)

### 「春帆楼茶寮」下関大丸店

住所	山口県下関市竹崎町 4-4-10 下関大丸 7 階
連絡先	TEL 083-235-8029 / FAX 083-235-8029
座席/席数	テーブル席(40 席)

# Press Release



<ホテル内>

日本料理・ふく料理「三田 春帆楼」

住 所	兵庫県三田市けやき台1-11-2 三田ホテル内 2階レストランフロア
連絡先	TEL 079-564-1101 / FAX 079-564-1107
座席 / 席数	ホール席(38席)、個室2室(8席)

「春帆楼」広島店

住 所	広島県広島市中区銀山町 10-17 ブルーウェーブイン広島内
連絡先	TEL 082-246-4999 / FAX 082-245-2300
座席 / 席数	大小座敷(3室)、テーブル席(40席)

「春帆楼」小倉店

住 所	福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-65 ブルーウェーブイン小倉内
連絡先	TEL 093-531-4000 / FAX 093-531-5120
座席 / 席数	大小座敷(2室)、テーブル席(32席) 宴会場4室

「風月茶寮」浅草店

住 所	東京都台東区浅草2-33-7 ブルーウェーブイン浅草内
連絡先	TEL 03-5828-4321 / FAX 03-5828-6421
座席 / 席数	1階50席、2階大小宴会場(最大50名対応)

<デパ地下食品街>

「春帆楼」高島屋東京店

ふく料理のテイクアウト専門店。イートイン 4 席もある人気のデパ地下グルメ。

住 所	東京都中央区日本橋2-4-1 高島屋東京店地下1階
連絡先	TEL&FAX 03-3272-1029

## ◆参考資料◆

～春帆楼の歴史～

### 【伊藤博文公との深い縁】

豊前中津奥平藩の御殿医であった藤野玄洋が、現在春帆楼がある下関市阿弥陀町の地に明治 10 年月波楼医院として開業したのが春帆楼の前身です。その後、明治 14～15 年頃に藤野玄洋の妻ミチが、医院を接客用に改装し、中津から奉公人等を集め、料理店兼客館の営業を開始しました。「春帆楼」という屋号は、春畝という雅号を持つ伊藤博文公が、春うららかな海の帆船を心に描いて命名しました。



## 【ふく料理公許第一号店】

日本では、縄文時代からふくを食べる習慣がありました。しかし、安土桃山時代になり、豊臣秀吉が朝鮮出兵した文禄・慶長の役(1592～1598)の際、攻略の要であった下関で武士達がふくを食べて相次いで死亡したことから、豊臣秀吉が「河豚食用禁止の令」を發布、ふく食は禁止されてしまいました。

長らく禁止されていたふく食を復活させたのは、初代総理大臣・伊藤博文公でした。今から120年前の1888年(明治21年)、伊藤博文が、春帆楼に立ち寄った際、海が時化(シケ)続きで魚がまるで捕れず、困り果てた女将は、手討ち覚悟で止むを得ずふくを御前に出しました。伊藤博文公はこの旨さに驚き「一身よく百味の相をととのえ」と絶賛されました。そして翌年、「調理さえ心がければ」との条件つきで禁令を解き、それ以来、春帆楼は「ふく公許一号の店」として、広く知られるようになりました。



春帆楼本店外観

## 【日清講和条約(下関条約)締結の地】

1895年(明治28年)3月、日清講和条約の会場選びは、長崎、広島など幾つかの候補地があげられていましたが、伊藤博文公が「下関の春帆楼で」と発表し決定。世界の外交史に名を連ねる日清講和条約(下関条約)は、当時の春帆楼2階の大広間で開催されました。こうして春帆楼は、世界史に名を残し、明治・大正期を通じて皇族や多くの政財官界要人、内外の顯官貴賓が足を運び、鉄道唱歌(九州山陽30番)の歌詞(「♪世界にその名いと高き馬関条約結びたる春帆楼の跡とひて昔しのぶもおもしろや」)や、司馬遼太郎の小説「竜馬がゆく」の文中でも紹介されるなど、下関の迎賓館として、各界著名人に愛されています。